



初任科第 91 期～133/133 の絆～

静岡県消防学校 初任科だより vol. 3

～救助訓練～

実科訓練では訓練礼式が終わり、新たに救助訓練が始まりました。「疾風勁草」をスローガンに救助隊員の素養である「目配り、気配り、心配り」を常に意識し、日々の訓練に励んでいます。

訓練内容はロープ展張に始まり、セーラー、モンキー、復旧を中心とした渡過訓練に加え、座席懸垂降下、登はん、交通救助など多岐にわたりますが、それぞれにおいて結索や安全管理といった基礎的な技術及び知識が不可欠です。まだまだ安全環の締め忘れなどのヒューマンエラーが発生し、教官から指導されることも多々ありますが、自らを成長させるため、失敗しても決して諦めず、技術とともに困難に立ち向かう強い精神力を鍛えていきます。



モンキー渡過



腕力登はん

～危険物取扱者試験～

初任科第 91 期が入校して 3 か月が過ぎました。消防職員として知識をより深め、職務に活用することを目的として、初任科生全員が危険物取扱者試験を受験しました。目標は初任科初となる「全員合格」です。

危険物に関する講義だけでなく、平日の課外時間、週末も勉強を重ねました。ほとんどの内容が初めて学ぶことばかりで、勉強に苦戦している学生が多く見受けられました。

最初は簡単な問題でつまづく事が多かった私たちですが、わからない問題はお互いに教え合ったり、教官に質問をしたりして徐々に理解を深めていきました。

その結果、試験本番では 97.7% の学生が合格することができ、これは過去最高の合格率ということで大変嬉しいです。残念ながら目標であった全員合格は達成することができませんでしたが、不合格の学生は引き続き勉強に励み、今後の試験で合格を目指します。

発行日：令和 2 年 8 月 3 日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第 91 期文化委員
袋井消防 柴田、山崎